

学籍番号

氏名

記入日

年

月

日

記入者

学生は卒業研究の開始時にルーブリックを理解し、教員によるフィードバックを受けながら、卒業研究に取り組む際の指標とする。
 教員は卒業研究の実施過程において発表や論文を指導する際に記入し、到達度を学生に逐次フィードバックするために用いる。

20151125

	確認項目	評価			
		3(合格)	2(合格)	1(合格)	0(不合格)
仕事を遂行する基礎力(学習教育到達目標B: 10%)	研究習慣・態度, 向上心	研究室にほぼ毎日来て、技術者の役割と責任を十分に理解し、計画的かつ主体的に仕事に取り組むことができる。	研究室にほぼ毎日来て、技術者の役割と責任をある程度理解し、計画的かつ主体的に仕事に取り組むように心がけている。	研究室にほぼ毎日来ていたが、技術者の役割や責任の理解が不十分／仕事における計画性や主体性を改善する必要がある。	欠席が目立つ、あるいは、技術者の役割や責任の理解が不足／仕事における計画性や主体性に乏しい。
技術論文作成, 発表および質疑応答能力の育成(学習教育到達目標C: 40%)	作成された技術論文の理解度(20%)	指定されたフォーマットに合わせ目的から結論までの道筋を分かり易く記述し、データに対する深い考察を行って、技術論文を作成している。	指定されたフォーマットに合わせ目的から結論までの道筋を分かり易く記述し、技術論文を作成している。	指定されたフォーマットに合わせ技術論文を作成している。	技術論文を指定されたフォーマットの体裁に合わせて作成していない。
	プレゼンテーションにおける研究テーマの理解度(20%)	研究テーマと発表の流れが明確である。説明を論理的に展開し、質問者と議論することができる。	研究テーマと発表の流れが明確で、説明を論理的に展開している。	研究成果を発表できる。	発表ができない。
機械工学の基礎知識を問題解決に用いる能力(学習教育到達目標D: 10%)	機械工学の応用能力	機械工学の基礎知識を用いて課題を定量的に解決できる。	機械工学の基礎知識を用いて課題を定性的に説明できる。	機械工学の基礎知識を利用して課題に取り組むことができる。	課題を解決するために利用する機械工学の基礎知識が理解できない。
総合的な能力(学習教育到達目標E: 40%)	課題を解決する能力	与えられた研究テーマの目的と解決方法を十分に理解し、自ら新しい課題解決の方法を提案することができ、自力で課題を実施できる。	与えられた研究テーマの目的や解決方法を十分に理解し、自力で課題を実施できる。	与えられた研究テーマの目的や解決方法の理解は乏しいが、教員の指導のもと課題を実施できる。	与えられた研究テーマの目的や解決方法を理解できず、課題を実施できない。

評価の2を標準の到達目標と仮定して作成しました。

- 評価が3のとき, 100点
- 評価が2.5以上3未満で, 90点
- 評価が2以上2.5未満で, 80点
- 評価が1.5以上2未満で, 70点
- 評価が1以上1.5未満で, 60点